

計算書類に対する注記

平成31年3月31日
特定非営利活動法人
産業クラスター研究会

1. 重要な会計方針

(1) 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金・前払金・前払費用・敷金・預り金及び未払い法人税を含めることにしている。

なお、前期末及び当期末残高は下記2項に記載する通りである。

(2) 消費税及び地方消費税の会計処理

税込み方式を採用している。

2. 次期繰越収支差額の内容は、次の通りである。

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	3,580,642	3,841,674
前払費用	41,790	41,790
未収金	921,807	0
敷金	144,360	144,360
合計	4,688,599	4,027,824
未払金	0	2,245
未払法人税等	621,628	124,500
預り金	2,293	1,445
合計	623,921	128,190
次期繰越収支差額	4,064,678	3,899,634